

賃貸住宅市場への新型コロナウイルス感染症の影響とその対応について

新型コロナウイルス感染症の拡大が賃貸住宅市場へ及ぼしている影響について、区が把握している情報を次のとおり共有します。

1 区の業務に及ぼす新型コロナウイルス感染症の影響

(1) 住み替え相談

5月からの再開とともに、新型コロナウイルス感染症の影響により部屋探しをしている人も相談の対象とした。

(2) 住居確保給付金

4月から9月までの合計で、来所相談件数が4,615件、申請件数が2,590件。

(3) 緊急小口資金・総合支援資金

9月までで、来所相談件数：11,936件、緊急小口資金：7,724件

総合支援資金：5,315件、総合支援資金の延長分：1,502件

(4) 生活保護申請状況

9月までの申請件数：817件、うちコロナ関連：133件

※平成31年度の申請件数：715件。

(5) 収入が減少した被保険者に係る介護保険料減免の状況。

9月30日現在で承認：936件、不承認：168件で、合計1,104件。

(6) 区立住宅の家賃の減免の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が著しく減少し、区立住宅使用料の支払いが困難になった入居者を対象に家賃10～50%の範囲で減免を実施。

減免実績：62件（4～8月）

2 各団体の活動等に係る影響

貴団体に関わるコロナの現状と影響、現場の声をお聞かせください。

また、本会としてどのような支援策を取りうるか、ご意見あればお願いします。

*回答は別紙「回答書」へお願いします。